

蛇の害

時頃行程約十一里、齊蘭臺チランダイに到る。此地は人家合して約五十戸を有し、飲料は溜水を用ゆれども苦鹹且つ不潔にして飲むべからず。地勢は一般に沙丘帯なるを以て、風あれば塵埃飛颺して面を向けん様もなし。齊蘭臺より西南に分岐し、柯平に通ずる大小の二道路あり。

二十七日午後二時過、新街道を進む。舊道は濕地多く、現今通行者稀なり。黃草湖ホワンツァエ一名マイチに於て新舊兩道相合す。行程十四里餘を以て十一臺即ち雅喀庫都克ヤカクツに到る。此處は好良なる河水を飲料に用ゆ。地形は初め一里餘は濕地、以後は沙地にして蛇多く乗馬、挽馬其害を受くるのみならず、時に來つて人を襲ふこと有り。

翌二十八日、日中氣溫九十度に上る、午後四時發、十臺一名車チエ的爾庫里ル（車リ的爾は帳房庫里は池）水の意とピチャクスト（稻地トの意人）を過ぎ、夫より梧桐樹林帯を辿りて行程約十三里、九臺（或は圖木舒克トムシユク）に入る。聞く此地雨雪降ること甚だ稀にして、近年一滴の雨、一片の雪なしと。

二十九日午後三時三十分出發し、西行約七里、小山の中間を過ぎ、左折してヲコマ